

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公表番号】特表2002-542566(P2002-542566A)
 【公表日】平成14年12月10日 (2002.12.10)
 【出願番号】特願2000-612946(P2000-612946)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 0 6 F 12/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/85 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 B 20/10 D

G 0 6 F 12/14 3 2 0 F

H 0 4 N 5/85 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月24日 (2010.3.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】発明の名称

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【発明の名称】レーザー中心媒体の電子コンテンツに基づくターゲット広告のための製造のシステム、方法及び商品

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子的にコンテンツの配布を探知する方法であって、

(a) 電子記憶媒体上に電子記憶媒体探知識別子を組込むステップを含み、

前記電子記憶媒体探知識別子は、前記電子記憶媒体に固有であり、

前記方法は更に、

(b) 前記電子記憶媒体がユーザコンピュータに接続されると前記電子記憶媒体探知識別子を検出するステップと、

(c) サーバー・コンピュータに前記電子記憶媒体探知識別子を送信するステップと、

(d) 前記サーバー・コンピュータで前記探知識別子に対応するレスポンスを求めて表照合を行って、前記ユーザコンピュータに前記レスポンスを出力するステップと
を含み、

前記レスポンスは、前記ユーザコンピュータを U R L (uniform resource locator) にリダイレクトするリンクを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記サーバー・コンピュータが前記表照合を実行して前記電子記憶媒体を売った小売店を決定することを特徴とする請求項 1 記載の電子的にコンテンツの配布を探知する方法。

【請求項 3】

前記サーバー・コンピュータがネットワークを経由して前記ユーザコンピュータに接続されることを特徴とする請求項 1 記載の電子的にコンテンツの配布を探知する方法。

【請求項 4】

前記サーバー・コンピュータがインターネット・プロトコルを利用して前記レスポンスを送信することを特徴とする請求項 1 記載の電子的にコンテンツの配布を探知する方法。

【請求項 5】

前記サーバー・コンピュータは、前記電子記憶媒体探知識別子についての前記表照合の処理結果を前記電子記憶媒体探知識別子の処理を記憶するデータベースに書込むことを特徴とする請求項 1 記載の電子的にコンテンツの配布を探知する方法。

【請求項 6】

電子的にコンテンツの配布を探知する装置であって、

(a) パースト・カット領域を有する光ディスク電子記憶媒体と、

(b) 前記パースト・カット領域に記憶されたデジタル符号 (c o d e) と、
を有し、

(c) 前記デジタル符号は、前記光ディスク電子記憶媒体上でコンテンツの識別子を
表し、

(d) 前記装置は、前記光ディスク電子記憶媒体がユーザコンピュータと接続されると、
前記デジタル符号を検出するコードセグメントを含み、

(e) 前記装置は、サーバー・コンピュータに前記デジタル符号を送信するコードセ
グメントを含み、

(f) 前記装置は、前記サーバー・コンピュータ内にコードセグメントを含み、前記コ
ードセグメントは、前記デジタル符号に対応するレスポンスを求めて表照合を行って、
前記レスポンスを前記ユーザコンピュータに出力し、前記レスポンスは、前記ユーザコン
ピュータを URL にリダイレクトするリンクを含むことを特徴とする装置。

【請求項 7】

前記サーバー・コンピュータが前記表照合を実行して前記光ディスク電子記憶媒体を売
った小売店を決定することを特徴とする請求項 6 記載の電子的にコンテンツの配布を探知
する装置。

【請求項 8】

前記サーバー・コンピュータはネットワークを経由して前記ユーザコンピュータに接続
されることを特徴とする請求項 6 記載の電子的にコンテンツの配布を探知する装置。

【請求項 9】

前記サーバー・コンピュータはインターネット・プロトコルを利用して前記レスポンス
を送信することを特徴とする請求項 6 記載の電子的にコンテンツの配布を探知する装置。

【請求項 10】

前記サーバー・コンピュータは、前記表照合の処理結果を前記デジタル符号の処理を
記憶するデータベースに書込むことを特徴とする請求項 6 記載の電子的にコンテンツの配
布を探知する装置。

【請求項 11】

プログラムを含むコンピュータ読取可能な媒体であって、前記プログラムは、前記コン
ピュータ読取可能な媒体上に実現され、組み込まれた識別子を有する電子記憶媒体の使用
を識別して該使用に対応するレスポンスを提供し、

前記プログラムは、

(a) ユーザによりユーザコンピュータに入力される際前記電子記憶媒体の前記識別
子を読取るコード部分と、

(b) 前記電子記憶媒体が前記ユーザコンピュータに接続されると前記識別子を検出す
るコード部分と、

(c) サーバー・コンピュータに前記識別子を送信するコード部分と、

(d) 前記識別子に対応するレスポンスについての表照合を行って、URL (uniform
resource locator) に前記ユーザコンピュータをリダイレクトするリンクを含む前記レス
ポンスを前記ユーザコンピュータに出力する前記サーバー・コンピュータ内のコード部分
と、

を含むことを特徴とするコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 2】

前記サーバー・コンピュータが前記表照合を実行して前記電子記憶媒体を売った小売店を決定することを特徴とする請求項 1 1 記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 3】

前記サーバー・コンピュータはネットワークを経由して前記ユーザコンピュータに接続されることを特徴とする請求項 1 1 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 4】

前記サーバー・コンピュータは前記識別子に基づいて前記 URL (uniform resource locator) に対応する支援サイトへ前記ユーザがアクセスするのを制限することを特徴とする請求項 1 1 記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 5】

前記プログラムは、前記識別子の処理を記憶するデータベースに処理結果を書込むコード部分を含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 6】

前記プログラムは、前記サーバー・コンピュータから前記レスポンスを受信するコード部分を含むことを特徴とする請求項 1 1 記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 7】

前記プログラムは、前記サーバー・コンピュータに支援基準を送信するコード部分を含むことを特徴とする請求項 1 6 記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 1 8】

前記プログラムは、ビデオ、ユーザー情報、及び適当なプレーヤの支援指標をデータベースに告示するコード部分を含むことを特徴とする請求項 1 1 記載のコンピュータ読取可能な媒体。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は電子的にコンテンツの購入及び使用を追跡及び制御するため電子媒体上のビット集合を利用する流通及び追跡システムに関するもので、特にネットワーク資源からの電子情報の支援を提供する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 4】

【発明が解決しようとする課題】

電子商品監視システム (electronic article surveillance system) は増加する万引きの脅威を部分的には補えるとはいえ、包装から磁気マーカの勝手な取外しは監視システムの検出能力を無効にすることが考えられ、既知の EAS マーカではディスクの操作性に影響しないようにコンパクト・ディスクに直接取付けることができない。固定板と共に EAS マーカを使用することは取扱いの問題があり、客が購入前に試聴を許される店ではコンパクト・ディスクの物理的安全性の問題を解決できない。コンパクト・ディスク面に直接取付けできる EAS マーカの使用により電子商品監視システムで不正操作防止用に特に設計した新しいコンパクト光情報ディスクは従って決定的な利益を提供することになる。斯くして、商売人は便利にかつ高くなりそ

の電子コンテンツ媒体の安全性を保持する必要がある。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

【課題を解決するための手段】

コンテンツの流通を電子的に追跡（探知）する製造のシステム、方法及び商品が提供される。最初に、電子記憶媒体探知識別子が電子記憶媒体に組み込まれ、データベースに記憶される。次に、包装物探知識別子が電子記憶媒体の記憶される包装物に配置される。それから電子記憶媒体は包装物上の探知識別子を使用して種々の部門（*entities*）間を輸送されながら追跡される。さらに、電子記憶媒体は種々の広告、セキュリティ、支援、または小売りに関する特色を提供するために電子記憶媒体上の探知識別子を使用して識別され得る。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

本発明はコンテンツの流通を電子的に探知し、この情報に基づく知的サービスを提供するためのシステム、方法及び製品を含む。最初に、音楽、ビデオ、データ、またはどんなタイプの視聴娯楽物または情報の形をしたコンテンツが生成される。その後、バースト・カット領域（*Burst Cut Area: BCA*）といった電子記憶媒体探知識別子が製造時に電子記憶媒体に取付けられる。電子記憶媒体はコンテンツを記憶可能ないかなる電子／光学記憶媒体の形をとってもよいことを注意すべきである。しかしながら、本発明においては、電子記憶媒体の一実施例、DVDに焦点をあてることにする。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

コンテンツの生成後、電子記憶媒体は複製器（*replicator*）により複製することができる。さらに、包装物探知識別子が電子記憶媒体が格納される包装物に取付けられる。そのような探知識別子はデータベース内にそれから記憶される。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0020

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0020】

前に述べたように、電子記憶媒体は複製者、配給元、小売店、及び消費者といった種々の部門間で配送されるときに包装上の探知識別子を用いて探知することができる。特に、複製者はDVDを製造、または“プレス”する会社である。複製者はコンテンツ開発者（ニュー・ラインなどのスタジオ）からDLT（デジタル・リニア・テープ）を受取り、それからDLT上のデータに基づいてDVDの“ガラス・マスター”を作成する。ガラス・マスターは全ての複製DVDが作られるマスターDVDになる。複製者は各DVDに複製工程の一部としてBCA番号を付け、配給元または消費者に配給のためDVDを“包装

／箱詰め”する。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0023】

好ましい実施例の例

DVDの探知に関する詳細を示す例をここに述べる。最初に、コンテンツ所有者（例えば、スタジオ）はそのDVDにおけるBCAの使用を要求する。要求に基づいて、複製者（例えば、WAMO、パナソニック、ニンバス、テクニカラー、パイオニア、クレストなど）は各々のDVDに固有のBCA番号を付ける。各DVDにBCA番号を付けるには特定の（YAG）レーザーを必要とする。これは製造工程の最後の段階であってもよい。特殊なDVDのBCA番号はインターアクチュアル（Inter Actual）のBCAデータベースに入れなければならない。追跡すべき情報は：DVDタイトル、例えば“Lost in Space”；BCA番号／範囲、例えば12345687890；配送包装／探知容器、即ちハリウッドビデオへのBox 52221を含む。

【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

Java（登録商標）を用いて、開発者は強固なユーザー・インタフェース（UI）を創出することができる。カスタムの“小道具（widgets）”（例えば、実時間ストック・チッカー、動画アイコン、等）を造ることができ、そしてクライアント側の動作特性が改善される。HTMLとは異なり、Java（登録商標）は動作特性改善のためクライアントに適当な処理を取外す、クライアント側確認の概念を支援する。動的、実時間Webページが創出できる。上述のカスタムUIを使用して、動的Webページがまた創出できる。

サンのJava（登録商標）言語は“インターネットをプログラムする”ための業界公認言語として出現した。サンはJava（登録商標）を“単純、オブジェクト指向、分散、解釈、強固、安全、アーキテクチャ中立、可搬、高性能、マルチスレッド、動的、専門語順応、汎用プログラミング言語として定義している。Java（登録商標）はプラットフォームに依存しないJava（登録商標）アプレットの形でインターネットのためのプログラミングを支援する。”Java（登録商標）アプレットは、開発者がWeb文書（即ち、簡単なアニメーション、ページ修飾、初歩的なゲーム、等々）に“対話式コンテンツ”を付加することを許容するサンのJava（登録商標）アプリケーション・プログラミング・インタフェース（API）に応じる小さな、特殊なアプリケーションである。アプレットはサーバーからクライアントにコードをコピーすることによりJava（登録商標）互換ブラウザ（例えば、ネットスケープ・ナビゲータ（Netscape Navigator））内で実行する。言語の見地から、Java（登録商標）のコアの主要集合はC++に基づいている。サンのJava（登録商標）の文献ではJava（登録商標）は基本的には“もっと動的なメソッド分解のためオブジェクト型Cから拡張したC++”であると述べている。

【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0053

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 3 】

同様な機能を J A V A (登録商標) に提供する別の技法は、インターネット及びパーソナル・コンピュータのための動的 コンテンツ を作るために必要なものを開発者及び W e b 設計者に与えるためマイクロソフト及び A c t i v e X により提供されている。A c t i v e X はアニメーション、3 D 仮想現実 (v i r t u a l r e a l i t y)、ビデオ及び他のマルチメディア コンテンツ を開発するためのツールを含む。ツールはインターネット標準を使用し、多数のプラットフォーム上で働き、そして 1 0 0 以上の会社により支持されている。このグループの基礎単位 (b u i l d i n g b l o c k) は A c t i v e X コントロールと呼ばれ、開発者がハイパーテキスト・マークアップ言語 (H T M L) ページの中にソフトウェアの一部を埋込むことが可能な小さな、高速部品である。A c t i v e X コントロールは、マイクロソフトの V i s u a l C + +、ボーランドの D e l p h i、マイクロソフトの V i s u a l B a s i c プログラミング・システム及び、将来は、マイクロソフトの “ J a k a r t a ” というコードネームがつけられた J a v a (登録商標) の開発ツールを含む種々のプログラミング言語と共に働く。A c t i v e X テクノロジーはまた開発者がサーバー・アプリケーションを造ることができる、A c t i v e X サーバー・フレームワークを含む。当業者は本発明を実行するためにあまり手をかけることなく A c t i v e X が J A V A (登録商標) に取って代えられることを直ちに認める。

【誤訳訂正 1 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 6 】

事例 1 : B C A を調べるウェブ・サイトへ行く。ドライブの中に D V D を入れ、消費者は B C A 情報を読むことができるウェブ・ページ上に埋込まれたエージェント / コンポーネントを有する特別なウェブ・サイトに接続する。この埋込まれたコンポーネントは他の可能な情報 (ユーザー i d、等) と共に、B C A を読出しこの情報をウェブ・サーバーに渡す。ウェブ・サーバーは所定の条件 / マーケティング / プロファイルに基づいて消費者に対する レスポンス を作成する。

【誤訳訂正 1 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 3 】

B C A 情報の使用法

小売り配給

遠隔エージェントが B C A 情報を持つサーバーに接続すると、サーバーは B C A 番号の実時間照合を実行し、渡された B C A 番号について複製者、配給元、及び / または小売店を決定する。それからこの情報は、P C フレンドリ・ソフトウェアにおいてチャンネル / バナー / プログラミングを更新または変更するといった、種々のプロジェクトに使用することができる。この操作はリモートシンク (R e m o t e S y n c) である。H T M L、ビデオ、グラフィックス等々といった特定資産 (商品) を開錠し、B C A 情報に基づく種々の資産 (商品) または一部のビデオを再生する。アプリケーションはまた B C A 情報のリモートシンクに基づいて新しい コンテンツ をダウンロードする、B C A 情報はリモート・トラク (R e m o t e T r a k) / B C A トラク機能を利用する適当な小売店に電子商取引及び “ 購入 (b u y - m e) ” ボタンを知らせるためにまた利用することができる。

【誤訳訂正 1 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0064】

好ましい実施例によるアプリケーションはまた新情報／更新を宣伝する（broadcast）ことができる。BCA情報に基づいて特定のウェブ・サイトへのアクセスを開錠及び／または制御するために論理が提供される。この論理は小売店の特定の“店先”にリダイレクトするために消費者に提供される。

【誤訳訂正15】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0086

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0086】

好ましい実施例による支援サービス

商環境においてDVDへの支援を高めるため、BCA番号を利用して表照合に基づいて特定支援サイトにリダイレクトするためにBCAが利用される。製造工程からディスクの異常及び欠陥を探知するための論理がまた用意される。小売店特定支援問題（issue）を探知するため、地域的支援記録を探知するため、BCA情報に基づいて支援サイトへのアクセスを制限するために別の論理が用意されている。最後に、BCA情報に基づいて支援を利用するブロードキャスト更新及び駆動装置（drivers）のために強化された支援が行われている。

【誤訳訂正16】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0088

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0088】

好ましい実施例による一般的／広告する論理

BCAと関連する消費者のプロフィールに基づいてBCAの一部（人口統計についてのプレイ・ビデオ1、別の人口統計についてのプレイ・ビデオ2、及びBCA情報に基づいてインターネット／ブラウザの経歴（experience）を作成すること。標的となる広告はBCA情報に基づいてまた用意され、コンテンツはPCフレンドリ・ソフトウェア内のチャンネル／バナー（banner）／プログラミングについて作成することができる。）としてビデオ準拠情報を作成するため、論理がまた用意されている。

【誤訳訂正17】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0092

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0092】

小売店／店舗情報を用いて、適当な電子商取引URLが小売店の特定な情報を含む小売店テーブルから決定することができる：

小売店／店舗 ハリウッド・ビデオ、23号店

電子商取引URL [http://www.retailer23.com/...](http://www.retailer23.com/)

好ましい実施例による知的処理のためBCA情報を使用した電子商取引のリダイレクト動作が以下に説明される。処理はユーザーがDVDをプレーヤに挿入し、電子商取引動作がユーザーの行動により始められたとき開始する。ユーザーが購入オプションを選択すると、論理はBCA情報を読み取りを始め、この情報はサーバー・データベースから他のユーザー情報と結合される。それからサーバーは原DVDを売った小売店を確かめるため表照合を実行する。原小売店はユーザーが始めた購入の標的になり、電子商取引はディスクを売

った小売店に別ルートで送られる。最後取引は再指示動作に関連するイベントを記憶するサーバー・データベースに告示される。

【誤訳訂正 18】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0096

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0096】

配給元、小売店、コンピュータまたは他のハードウェア製造業者、直接販売者、コンテンツ開発者またはDVDを配給し、売り、または安売りする者は全て好ましい実施例により下に詳述される恩恵を受けるであろう。これらの幾つかは、例えば：

ブロックバスター、DVDエクスプレス、アマゾン・コム、ベスト・バイ、デラックス、テクニカラー／ニンパス1、IBM、ゲートウェイ、デル、クリエイティブ・ラプズ、ニュー・ライン、ワーナー、アクティビジョン、エレクトロニック・アーツ、ジェネラル・モーターズ、及びフォード・モータ・カンパニーを含む。

【誤訳訂正 19】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

好ましい実施例による知的処理のためのBCA情報を利用してDVDの著作権侵害及び誤用を探知するためのロギング操作が以下に説明される。ユーザーがプレーヤにDVDを挿入すると処理が開始し、ロギング操作がユーザーの行動により始まる。ユーザーがDVD再生／インストール・オプションを選択すると、論理はBCA情報を読取るため開始され、この情報はサーバー・データベースからの他のユーザー情報と結合される。ユーザーが、BCA番号に基づいて、DVDの使用またはインストールを許されるかどうかを確かめるためサーバーは表照合を実行する。それからサーバーはDVDの再生／インストールを可能または不可能のいずれかにする。最後に処理結果はロギング操作に関連するイベントを記憶するサーバー・データベースに告示される。ロギング情報は海賊版ディスクを特定の地域に限定するため、不正な地域コードを探知するため、及び不正使用／海賊版DVDを小売店、配給元、製造業者、またはコンテンツ開発者に出所を明らかにするために使用することができる。

【誤訳訂正 20】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0107

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0107】

支援サービス

好ましい実施例による知的処理のためのリダイレクト操作が以下に説明される。ユーザーがプレーヤにBCD情報を持つDVDを挿入すると処理が開始し、再指示操作がユーザーの行動により始まる。ユーザーが支援オプションを選択すると、論理はBCA情報を読取るため開始され、この情報はサーバー・データベースからの他のユーザー情報と結合される。それから原DVDのための支援組織を確かめるためにサーバーは表照合を実行する。支援組織はユーザーが始めた支援要求の標的になり、支援処理がDVDに関連する支援組織に別ルートで送られる。最後に処理結果はリダイレクト操作に関連するイベントを記憶するサーバー・データベースに告示される。

【誤訳訂正 21】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 1 1 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 0 】

第5図は好ましい実施例による知的処理のための支援処理のリダイレクト操作のフローチャートである。ユーザーがプレーヤにBCD情報をもつDVDを挿入する2200で処理が開始し、機能ブロック2210に示されるようにリダイレクト操作がユーザーの行動により始まる。ユーザーが2210で支援オプションを選択すると、論理はBCA情報を読取るため開始され、機能ブロック2220に示されるようにこの情報はサーバー・データベースからの他のユーザー情報と結合される。それから機能ブロック2030に示されたように原DVDのための支援組織を確かめるためにサーバーは表照合を実行する。支援組織はユーザーが機能ブロック2210で始めた支援要求の標的になり、そして、認められれば、支援処理が機能ブロック2240においてDVDに関連する支援組織に別ルートで送られる。そうでない場合は、支援場所が利用できないことをユーザーに知らせる場所にリダイレクトされる。最後に処理結果はリダイレクト操作2250に関連するイベントを記憶するサーバー・データベースに告示される。

【誤訳訂正22】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 1 1 1

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 1 】

第6図は好ましい実施例による知的処理のためのBCA情報を利用して更新、支援及びアプリケーション情報をダウンロードするブロードキャスト操作のフローチャートである。ユーザーがDVDアプリケーション・アクティブでインターネットに接続する2300で処理が開始する。機能ブロック2310に示されたように論理は実際のインターネット接続を検出し、BCA情報を読取り、DVDアプリケーションのバージョン情報を決定し、そしてサーバーへの接続を始める。2310において論理がサーバーへの接続を始めた後、機能ブロック2320に示されるようにDVDアプリケーションはDVDについてサーバーから全ブロードキャスト情報を要求する。それから機能ブロック2330に示されるようにDVDについてブロードキャスト情報を確かめるためにサーバーは表照合を実行する。機能ブロック2320において一旦ブロードキャスト情報がアプリケーションにより始められた要求について決定されると、機能ブロック2340に示されるようにサーバーはHTTPプロトコルを用いてアプリケーションにブロードキャスト情報を渡す。それから機能ブロック2350に示されるようにDVDアプリケーションはユーザーに情報を提供するか、または自動的に情報に作用するかのいずれかによりブロードキャスト情報に作用する。最後に処理結果はダウンロード動作2360に関連するイベントを記憶するサーバー・データベースに告示される。それから電子商取引のURLは消費者の購入要求が適当なURLにリダイレクトされるようにActiveXコントロールに戻される。

【誤訳訂正23】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 1 1 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 5 】

この方法はMPEG-1、H.261、及びH.263などの他のビデオ符号化方法にも容易に適用可能である。デジタル透かしはデジタル化マルチメディアコンテンツの作者及び出版者がそのコンテンツの出所、安全の確認及び認証を要求する集合点に存在する。著作権侵害の存在は明らかに著作権作品のデジタル配布に対する阻害要因であるため、そのような作品のコピー及び派生コピーについて信頼性の確立は貴重である。“マ

スター（原版）”、ステレオ、NTSCビデオ、オーディオ・テープまたはコンパクト・ディスクいずれにせよ、種々の形式のマルチメディアコンテンツを考える際、品質劣化の許容度は個人によって異なり、コンテンツの基本的な商品価値及び芸術的（美的）価値に影響する。

【誤訳訂正 2 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 6】

それが商品であろうとなかろうと、結果として、正当と認められないコンテンツの配布によって、そのコンテンツが損害を被り、そのため価値が下がるという意味では、著作権、所有権、購入者情報またはこれらのある組合せ及び関連データをコンテンツに結びつけることが望ましい。法的な承認及び姿勢変化は、市販配布されたコンテンツ（オーディオ、ビデオ、ゲーム等）の必要な構成要素としてデジタル透かしの重要性を認め、デジタルコンテンツの商品配布に従事する種々の関係者によってコンテンツの取引のための条件に合った要素（パラメータ）の開発を促進するであろう。

【誤訳訂正 2 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 7】

これらの関係者は芸術家、技術者、スタジオ、インターネット接続プロバイダ、出版社、エージェント、オンライン・サービス・プロバイダ、種々の形の配送をするコンテンツ集配者、個人及び目的の関係者へコンテンツの実際の配達を委ねるため資金の移送に係る関係者を含む。デジタル記録の特性は大きく異なるので、所定のデジタル化標本（オーディオ、ビデオ、仮想現実、等々）のストリーム内にデジタル透かしを挿入、保護及び検出するための最適化パラメータの包みを記述する手段（tool）を提供することは価値ある目標である。見付からない商品配布からの絶対的な所定予想利益の観点で、下記に述べる最適化方法はこれらのパラメータを含むデジタル透かしの不正な除去を非常に高くつく操作とする。非常に高価な手段を使用しないでデジタル透かしが除去されれば、不正なコピーを商品として無価値とするために、この最適化方法は、少なくとも、コンテンツの信号に大きな損傷を必要とする。おそらく、幾つかの作品の商品価値は実際には見付けられない、そして全体的な経済的見返りを受ける権利保持者が“妥当である”と考える著作権侵害のいくつかのレベルを指図することになる。例えば、全体市場の大きさ及びこれらの市場において著作権侵害者について潜在する経済的見返りが与えられる偽100ドル紙幣、レヴィ（LEVI）のジーンズ、及びグッチ（GUCCI）の鞆がいつもあるであろう — 同様に音楽作品、オペレーティング・システム（Windows（登録商標）98等）、ビデオ及び将来のマルチメディア商品の不正コピーもまたあるであろう。しかしながら、“デジタル市場”を物理的市場から区別するものは商品の認証における責任と信用を確立する体制の欠如である。物理的製品については、著作権侵害からの損失を評価するため会社及び政府が商品に正札を付け、製造能力及び販売を監視する。そこにはまた消費者をさらに良く教育するために法的、電子的、及び情報活動を含めた、強化機構はない。

【誤訳訂正 2 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】図面の簡単な説明

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】 第 1 図は本発明の一実施例に含まれるハードウェアの実施例のブロック図である；

【図 2 A】 第 2 A 図は好ましい実施例による DVD 処理のユーザー接続及び更新に関連する詳細な論理を示すフローチャートである；

【図 2 B】 第 2 B 図は好ましい実施例による DVD 処理のユーザー接続及び更新に関連する詳細な論理を示すフローチャートである；

【図 3】 第 3 図は好ましい実施例による知的処理のための支援処理の表示操作のフローチャートである；

【図 4】 第 4 図は好ましい実施例による知的処理のための B C A を利用する支援探知のフローチャートである；

【図 5】 第 5 図は好ましい実施例による知的処理のための支援処理の リダイレクト 操作のフローチャートである；及び

【図 6】 第 6 図は好ましい実施例による知的処理のための B C A 情報を利用して更新、支援及びアプリケーション情報をダウンロードするブロードキャスト操作のフローチャートである。

【誤訳訂正 27】

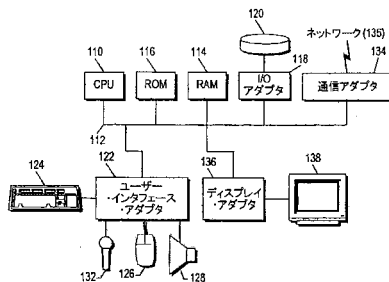
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】全図

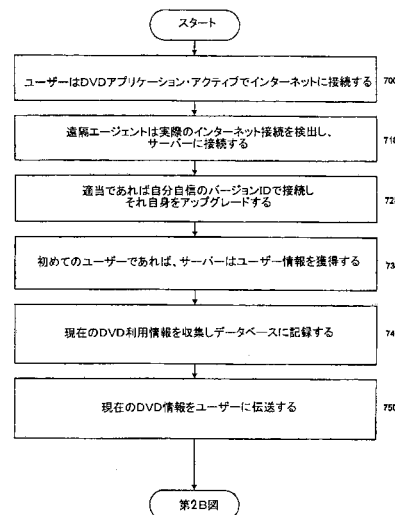
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

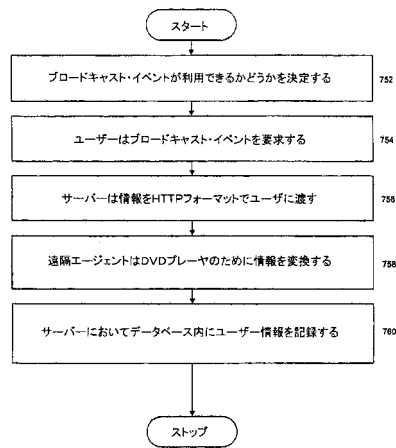
【図 1】



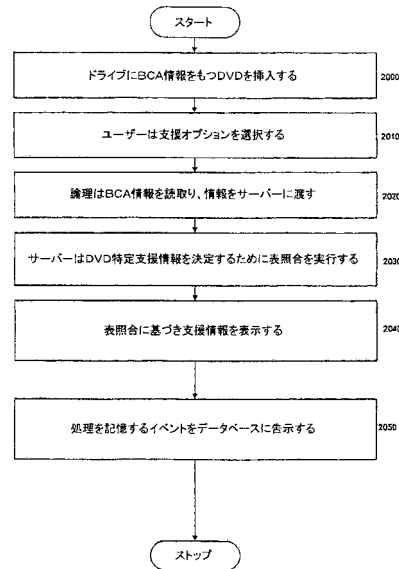
【図 2 A】



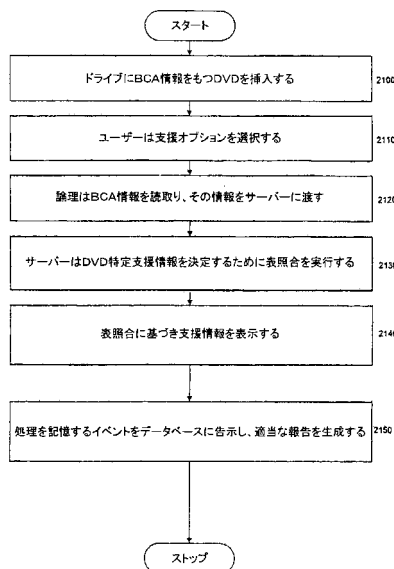
【図 2 B】



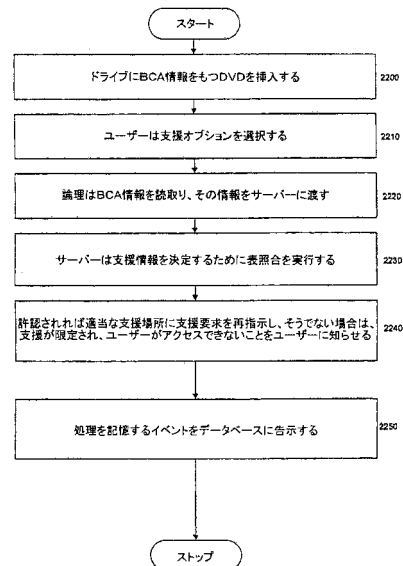
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

